



校長室だより

校長 山崎 聡子

令和7年がスタートしました

令和7年がスタートして、2週間が経ちました。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1月8日(水)、無事に3学期がスタートしました。子供たちの元気な声が学校に響き渡り、エネルギーあふれる子供たちを迎え、教職員一同うれしく思っております。冬休み、充実した時間を過ごせたことと思います。

3学期の始業式は、厳しい寒さの対策と感染症の予防のために、リモートで式を行いました。子供たちには次の話をしました。

- ・今年巳年。生き物でいうとへび年であること。
- ・へびは、古い体を脱いで、脱皮しながら大きくなる、つまり、新しい自分に生まれ変わることができるすてきな意味があること。
- ・へびが脱皮して大きくなるように、新しい自分に出会える年にしてほしいこと。
- ・「1年の計は元旦にあり」という言葉を終業式に伝えたが、自分が立てた目標に向かって一日一日を大切に積み重ねてほしいこと。
- ・3学期はまとめの学期であること。
- ・4月から大切にしてきた「言葉」を引き続き大切にしてほしいこと。
- ・1学期・2学期に、お互いのことを考えて行動する姿がたくさんあったこと、良い力がつながっていく姿がたくさんあったこと。その中で使ってきた「温かな言葉・優しい言葉」を3学期も意識して使ってほしいこと。

・仲間の良さを自分の力として取り入れ、仲間がいたからこそ、いい時間を過ごすことができたと思えるように、お互いの力をつなぎ合わせて、今の学年のしめくくりをしてほしいこと。

子供たち一人一人が立てた目標が教室に掲示されています。どの目標も子供たちが前を向いて進んでいきたいという思いにあふれているものばかりです。表現された言葉には、一人一人の思いがのっていますから、子供たちの目標を読むだけで、力をもらうことができます。

私も言葉の力を大切にしながら、子供たちと成長できる年にしていきたいと思っています。私自身のことで恐縮ですが、年末年始、たくさんの音楽を聴く時間を大切にしてきました。短い言葉の中に思いを詰め込んで表現していく音楽の歌詞に励まされることが多々ありました。「新しい自分に出会える」ことを意識して過ごす、この巳年に、背中を押された次の歌詞があります。

「変わらないために、僕らはいつまでも変わり続けるよ」

SEKAI NO OWARI 『アース チャイルド』

日々、頭も心もめいっぱい動かして輝いている子供たちが、着実に成長していくように支えながら、私も立ち止まることなく、今まで自分が積み上げてきたことをさらに追求していくことを大切にしていきたいと思っています。3学期はあっという間に過ぎていってしまいましたが、一日一日を振り返り、自分の歩みを確認めながら充実した時間を子供たちと共に過ごしていきたいと思っています。